

【様式】

令和8年度 学校マネジメントシート

学校名(久居高等学校)

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿		自分らしく学びを選ぶことができ、進学にも就職にも対応した確かな進路保障を通じて、地域や社会に貢献する人材を育てることができる学校
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らのよき未来を描き、最適な学びを選択することができる生徒 ○ 日々の授業を大切に、学力の定着と向上に取り組む生徒 ○ 基本的な生活習慣・社会規範を身につけ、責任ある行動を取ることができる生徒 ○ 学校行事や生徒会活動、部活動など、何事にも意欲的かつ誠実に取り組むことができる生徒 ○ 互いを尊重し合い、違いを認め合うことのできる心豊かな生徒
	ありたい教職員の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育への使命感を持ち、主体的に学校の教育活動を推進する教職員 ○ 生徒の「わかる」「できる」を実感できる授業実践を追求し続ける教職員 ○ 高い倫理観と温かな人間性を備え、生徒理解と協働を大切にする教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒> 充実した授業を受けたい。活発に部活動をしたい。進路希望を実現したい。</p> <p><保護者> 安全・安心の学校生活。卒業後の進路保障。社会人として自立できる力を育ててほしい。</p> <p><地域> 公共心とマナーの育成。地域の普通科高校として信頼できる教育を推進してほしい。</p>	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p><家庭> 毅然とした生活指導を行いながらも、子どもの心に配慮した教育を行なってほしい。 子どもや学校の現状を知らせてほしい。</p> <p><中学校> 学校の様子、卒業生の近況報告、入試情報等を知らせてほしい。</p> <p><地域社会> 交通マナー、公共の場でのマナーを守らせてほしい。</p>	<p><家庭> 本校の教育活動への理解と協力を子どもたちの基本的な生活習慣の確立をはじめ、家庭の教育力の向上</p> <p><中学校> 基礎学力の定着 規範意識の醸成</p> <p><地域社会> 本校の教育活動への理解と協力</p>
(3)前年度の学校関係者評価など	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後、フレキシブルな学びの選択肢を設けていくことを考えると、多様な生徒に対応できるよう、教員の資質向上が重要である。 ○ 生徒自身がよく考えた上で決定した進路は、辞めずに続けることができる。進路のミスマッチが起らないよう、自己決定を促す指導が大事である。 ○ 教員が抱えるストレスや長時間勤務の解消に努めるなど、教員の健康保持が大事である。損なわれると生徒にも影響が及ぶ。 	

(4)現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科学習に対し苦手意識が強い生徒や目標達成に向け地道な努力を重ねることが苦手な生徒に、自ら学ぶ意欲を育てるための授業改善・授業力の向上が必要である。 ○ 基本的な生活習慣が身につけていない生徒に、ルールを守ることの大切さを伝えるとともに、生徒自身のルールメイク意識の向上を図ることで、規範意識を育てることが必要である。 ○ 多様な生徒への対応が求められる中、学校生活や授業を通して生徒理解を深めるとともに、大学や関係機関の協力を得ながら、生徒の進路選択、進路実現に向けた支援を充実させる必要がある。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進学にも就職にも対応できる進路多様校としての久居高校の魅力が中学生や保護者に伝わるよう、普通の学校生活や進路実現に向けた教育活動について、理解を深めていただけるような情報発信に力を入れる必要がある。 ○ 地域から信頼される学校をめざし、学校関係者評価委員会やPTAの意見を学校運営に生かすことをはじめ、校外とのコミュニケーションを活性化させる必要がある。 ○ 行事や業務の精選・重点化をはかることで、教職員の多忙感を解消し、生徒と向き合う時間を確保することにより、働きやすい職場・働きがいのある職場づくりに取り組む必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒一人ひとりの成長と未来を見据えた生徒本位の教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が自分に適した学びを選択し習得できるよう、教育環境の整備や学習機会の拡充に取り組みます。 ・ 確かな学力と学習習慣を身につけ、基礎・基本の定着と応用力の伸長を図ります。 ・ 基本的な生活習慣の形成と規範意識の醸成により、社会の中で信頼される行動力を身につけ、誠実さと責任感を基盤とした豊かな人間性と公共心を育てます。 ○ 生徒一人ひとりの進路実現に向けたキャリア教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 単位制・コース制の特長を生かし、生徒の進路希望や興味関心に応じた授業選択を通じて、生徒が自分の進路を自ら設計し、着実に形にしていく力を育成します。 ・ スポーツコースでは、3年間を通して体育の専門科目をカリキュラムに取り入れた授業と校外実習等により、運動能力を生かし多様な進路が実現できるようサポートします。 ・ 普通コースでは、各自が希望する授業に分かれてのきめ細かな学習指導と授業選択モデルの設定により、4年制大学・短期大学・専門学校への進学、就職(公務員試験対策含む)など多様な進路希望の実現をサポートします。 ・ チャレンジコースでは、国公立を含む4年制大学への進路実現に向け、基礎学力の定着から応用力養成まできめ細かく親身にサポートします。 ○ 生徒一人ひとりの自尊感情を高める教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が自らの価値を実感し、確かな自己肯定感を育むことができるよう、日々の授業や学校行事、生徒会活動、部活動等を通して、自己存在感の育成、温かい人間関係の形成、主体的に選択・行動する機会の充実に取り組みます。
	学校運営等

	<p>組織的な対応により統一した指導の徹底を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域への情報発信の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 久居高校の教育活動を地域や保護者、関係者に分かりやすく伝えることができるよう広報活動の充実に取り組みます。 ○ 働きやすい職場・働きがいのある職場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員が互いに協力し、助け支え合うことができる職場づくりに取り組みます。 ・ 行事や業務の精選・重点化、外部人材の活用など働き方改革を進め、教職員の多忙感を解消し、生徒と向き合う時間の確保に取り組みます。 ・ 校外で発生した不祥事案を他人事とせず自分の問題として捉えることができるよう、職員会議等の場を通じて共有します。
--	--

4 求める生徒像

<p>入学時に期待される生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夢や目標に向かって努力し、未来を切り拓こうとする生徒 ○ 自分らしさを大切にしつつ、学びを続けたいと考えている生徒 ○ 生活習慣やルールを大切にし、誠実な行動を心がける生徒
---	--

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	<p>(1)生徒の教科学習に対する苦手意識を克服し、自ら学ぶ意欲を育てる授業の展開 (2)学習習慣の定着 (3)学習機会の拡充 【活動指標】 ○授業の振り返り等による生徒のメタ認知を高める授業づくりの実施 ○ICT 機器の活用による協働的な学びの促進 【成果指標】 ○生徒を対象としたアンケート調査 「授業の進め方」についての満足度(満足+やや満足) 95% 「授業の分かりやすさ」についての満足度(満足+やや満足) 95%</p>		※
生徒指導の充実	<p>(1)基本的生活習慣の確立と社会生活に適応する力の育成 【活動指標】 ○頭髪・服装指導 年3回以上実施 ○いじめ防止への取組 ○ネットモラル教育 ○薬物乱用防止講話 ○交通安全講話 ○性教育講話 【成果指標】 ○いじめ重大事態の発生件数 0件 (2)規範意識を身につけ、信頼される行動力を養う 【活動指標】</p>		※

	<ul style="list-style-type: none"> ○登校時の交通安全指導 ○生徒との対話による生徒自身のルールメイク意識の向上 【成果指標】 ○特別指導の件数と再指導生徒の割合 前年度比減 (令和7年度 特別指導9件、再指導0件) 		
キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> (1)「総合的な探究の時間」の学びの質を高め、生徒自ら主体的に進路を設計し、形にしていく力の育成 (2)外部(高大連携、企業、地域連携等)との充実した連携の充実を図り、多様な学びの場を提供 【活動指標】 ○自己理解・他者理解を深める教育の充実 ○協働する力の育成を促す教育の充実 【成果指標】 ○生徒を対象としたアンケート調査 「適切な進路指導が行われている」についての満足度(満足+やや満足) 95% 		
自尊感情を高める教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> (1)日々の授業や学校行事、部活動等の中で「認められる」「認める」経験を重ね、温かい人間関係を構築し、心身共に健康な生活づくりの推進 【活動指標】 ○対話が充実する安全・安心な教室づくりと授業づくり ○頑張る機会と頑張ることができる実体験 【成果指標】 ○生徒を対象としたアンケート調査 「学校生活に満足している」についての満足度(満足+やや満足) 95% 「安全・安心な学校づくりができています」についての満足度(満足+やや満足) 95% 		
(年度末に記載)			

(2)学校運営等

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
教科指導力と生徒指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> (1)生徒が「わかる」「できる」を実感できる授業づくり (2)多様な生徒の理解と生徒指導力の向上 【活動指標】 ○教職員研修 年3回以上実施 ○授業参観等のOJT 【成果指標】 ○生徒を対象としたアンケート調査 「授業の進め方」についての満足度(満足+やや満足) 95% ※再掲 		

	<p>「授業の分かりやすさ」についての満足度(満足+やや満足) 95% ※再掲</p> <p>「適切な生徒指導が行われている」についての満足度(満足+やや満足) 95%</p> <p>(3)フレキシブルに学びを選択し、確かな進路保障ができる「みえ版フレキシブル高校」の整備</p> <p>【活動指標】</p> <p>○中学生が自分にあった学び方を選択するための説明会と相談会を開催</p>		
地域への情報発信の強化	<p>(1)保護者や関係者との信頼構築と地域に必要とされる高校をめざし、本校教育活動の情報提供と広報活動の充実</p> <p>【活動指標】</p> <p>○ホームページの更新</p> <p>○インスタグラムの更新</p> <p>【成果指標】</p> <p>○説明会における中学生や保護者に対するアンケート調査</p> <p>8月学校説明会の満足度(とても満足+まあまあ満足) 90%</p> <p>8月学校説明会に参加して以前より久居高校に興味を持った 95%</p>		
働きやすい職場・働きがいのある職場づくり	<p>(1)教職員が互いに協力し、助け支えあうことができる職場づくりの推進</p> <p>(2)教職員の多忙感を解消し、生徒と向き合う時間の確保</p> <p>【活動指標】</p> <p>○外部人材の活用</p> <p>(3)年次有給休暇等を取得しやすい環境をつくり、総勤務時間の縮減を図る</p> <p>【活動指標】</p> <p>○定時退校日を月2回設定し、定時に退校できた教職員の割合 100%以上</p> <p>○部活動休養日を週1日以上設定し、予定どおり休養日を実施できた部活動の割合 100%</p> <p>○放課後に開催された会議のうち60分以内に終了した会議の割合 100%以上</p> <p>【成果指標】</p> <p>○時間外在校等時間が年360時間を超える教職員数 0人</p> <p>○時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の延べ人数 0人</p> <p>○1人当たりの月平均時間外在校等時間前年度比減(令和7年度 21.9時間)</p> <p>○1人当たりの年間休暇取得日数 15日以上</p>		◎ ◎
改善課題			

(年度末に記載)

6 学校関係者評価

明らかになった 改善課題と次への 取組方向	(年度末に記載)
-----------------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動について の改善策	(年度末に記載)
学校運営について の改善策	(年度末に記載)